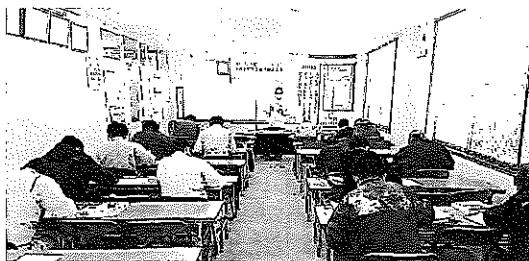


県電設協

16人が実地対策学ぶ

一級施工管理
技術検定試験
事前学習会開く



熊本県電設業協会（岩崎裕会長）は1月30日と2月6日の2日間、エレック本社（熊本市北区）で一級電気工事施工管理技術検定実地試験の事前対策学習会を開いた。昨

年10月の学科を突破した会員企業の社員16人が受講し、出題傾向などを学んだ。

今年度の技術検定試験は、新型コロナウィルス感染症の影響で例年の日程から学科・実地ともに4月月ほど延期。実地試験は2月21日に実施される。

一級施工管理技士の資格を持つエレックの永野広朗専務が講師を務め、1日目は施工経験記述の書き方のポイント等を解説し、2日目はネットワーク工程表と法規について傾向を分析したビデオによる講義を行った。

永野専務は、受講生に

対し「忙しい年度末と試験が重なったが、一緒に受験する仲間すでに合格している先輩、会社にも協力をお願いしながら、勉強する時間をしっかりと確保してほしい。試験の前日は必ず休んで」とアドバイスした。